

## 2017 年度後期 開講課目

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師
月	新約聖書神学概論 New Testament Survey II	4	共通選択	坂元俊郎
月	牧会学 Pastoral Ministry	4	専攻科必修/共通選択	中田義直
火	旧約聖書概論 Old Testament Survey I	4	共通選択	魯孝錬
火	聖書解釈学概論 Biblical Hermeneutics	4	共通選択	川口通治
火	指揮法 II Conducting II	4	音楽本科必修	山中臨在
木	組織神学 I Systematic Theology I	4	共通選択	廣島尚
木	教会史 III Church History III	4	共通選択	戒能信生
金	連続公開講座「信徒のための説教」 Principles of Biblical Preaching	4	共通選択	内藤淳一郎・高木康俊・安藤榮二
金	ギリシャ語中級 New Testament Greek II	4	専攻科必修/共通選択	村中範光
土	合唱 Chorus	2	音楽科必修	菊地るみ子
土	楽典・ソルフェージュ II Music Theory Solfeggio II	4	音楽本科必修	十時節子
土	礼拝音楽 Music in Worship	4	音楽本科必修	菊地るみ子 伊藤真知子
	卒業論文 Graduation Recital Graduation Thesis	6	専攻科必修	
	冬期公開講座 Church Administration II	2	共通選択	濱野道雄

- 専攻科必修は神学専攻科と教会教育専攻科の必修課目です。本科生・聴講生も受講できます。
- 開講曜日および担当講師は変更する場合があります。

### 【冬期公開講座】—バプテスト教会における教会形成

期 日 2017年12月29日(金)～30日(土)  
場 所 東京バプテスト神学校(茗荷谷キリスト教会 礼拝堂)  
課 目 「教会管理」または「神学特講」  
講 師 濱野道雄先生・鳥山美恵先生  
主 題 講義Ⅰ 未定  
講義Ⅱ 未定  
講義Ⅲ 未定  
講義Ⅳ 未定  
講義Ⅴ 未定

参加費 受講料:本科生 12,500円 / 聴講生(一般の方)15,000円  
\* 通信は+5,000円(通信手数料)  
\* 部分受講は1講義 3,000円  
\* なお卒業生、後援会会員、連盟加盟教会牧師、三連合役員は受講料 15,000円が半額になります。



東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18

TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145

メール:seminary@tbts.jp

tbts.jp 検索

## 2017 年度後期 東京バプテスト神学校受講案内(訂正版)

本 科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース

※課目案内の変更があります(赤字が変更点)。

【願書受付】 ・入学・聴講手続に必要な書類を当神学校に請求してください。  
(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)  
\* 願書に必要事項を記入の上、9月8日(金)までに郵送してください。  
\* 専攻科・本科・信徒リーダー養成コース入学及び聴講希望者には牧師の推薦が必要です。  
(但し、1課目のみ試験聴講の方は不要です。)  
\* 専攻科は、後期入学は受付しません。「聴講」のみ可能です。

【試験面接】 9月22日(金)午後6時30分  
\* 教会音楽科は、実技及び楽典の試験と面接を行います。

【入学式・オリエンテーション】  
10月6日(金)午後7時 於:茗荷谷キリスト教会  
\* 受講手続きがありますので受講者は全員出席してください。

【学 期】 ・後期 10月10日(火)～2018年3月9日(金)  
<冬期休業 12月18日(月)～2018年1月6日(土)>  
\* 但し、冬期公開講座は12月29日(金)～30日(土)に開催されます。

【休 業 日】 主日、水曜日、国民の祝日(但し2月11日は除きます)

【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後6時30分～8時30分  
\* 但し、教会音楽科については土曜日午前9時30分～午後3時30分

【入 学 金】 ・本科・専攻科入学金 100,000円  
・信徒リーダー養成コース 50,000円  
\* 後期は専攻科の入学はありません。

【受 講 料】 ・本科生・信徒リーダー養成コース生 1課目4単位 25,000円、2単位 12,500円  
・本科聴講生 1課目4単位 30,000円、2単位 15,000円

【設 備 費】 一律 5,000円(半年間)

【通信受講】 通信受講の場合、4単位当たり 10,000円の通信事務費が必要です。

【聴 講】 ・どの課目も聴講可能、但し聴講生には卒業・修了資格は与えられません。  
・聴講で取得した課目は本科・信徒リーダー養成コース入学時に単位として認められます。  
・ある1課目だけ試験聴講したい方の入学金、設備費、牧師推薦状は必要としません。  
但し、面接は必要です。  
・また、本校卒業生、連盟加盟教会牧師は1課目4単位 30,000円が半額 15,000円で受講できます。但し、単位は取得できません。

## 2017 年度後期 課目案内

### 「新約聖書神学概論」 4単位 月曜日 坂元俊郎

新約聖書をどう読むかは現代において、最も大切な課題の一つです。特に日本バプテスト連盟の教会は多様な理解の中で新約聖書を読んでいると考えられます。このクラスでは以下のテキストを参考にしつつ、聖書の読み方を神学的な方法を用いながら学んでいきたいと思ひます。テキストは2冊を用います。一冊は「グッドニュース新約聖書」(キリスト教スタディーブック・シリーズ1 福島 旭著、新教出版社)です。どなたでもわかりやすい学びをすることができます。もう一冊は「新約聖書への神学的入門」(NTD補遺2、E. シュバイツァー著、小原克博訳、日本基督教団出版局)です。これは神学的な専門書です。良き学びの時をと願っています。

### 「牧会学」 4単位 月曜日 中田義直

牧会とは何かという基礎的な理解を深めるとともに、会衆教会、特にバプテスト教会における牧会について考察する。また、牧師の役割と働きについてバプテストの視点から考える。特に教会における牧会の担い手を牧師に限定することがないよう、信徒同士の相互牧会の重要性やそのあり方について考察する。  
テキスト:①牧会とは何か:聖書の記述とチャールズ.V.ガーキン『牧会学入門』(日本キリスト教団出版局)を手掛かりに、牧会とは何かを考える。②バプテスト教会における牧会:金子敬『バプテスト教会における牧師の働き』(日本バプテスト連盟宣教研究所)や『教会学校ブックレット 2017』(日本バプテスト連盟)を通してバプテスト教会における牧会について考える。③牧会の実際と課題:「み言葉によって生きる」「礼拝への招き」「自覚的な応答」をキーワードとして牧会の実際について考える。また、『教会と暴力Ⅰ、Ⅱ』(日本バプテスト連盟宣教研究所)をテキストとして牧会の課題について考える。

### 「旧約聖書概論」 4単位 火曜日 魯孝錬

旧約聖書とは、イスラエルの民の膨大な歴史の記述です。そしてその多くは、バビロン捕囚を機に編集・編纂されました。破局の中での紡ぎ出された信仰告白なのでしょう。講義は、ユダヤ民族のパレスチナ定着からローマのユダヤ征服国の滅亡を概観することを目的とします。そしてこのような歴史のただ中で、旧約聖書のトラー(律法)、ネビーム(預言者)、ケトウビーム(諸書)がどのように書かれ、また読まれたのかを一緒に考えます。  
テキスト:山我哲雄『聖書時代史—旧約編』岩波現代文庫、2003、参考図書:旧約聖書翻訳委員会編『聖書を読む—旧約編』岩波書店、2005、山口里子『新しい聖書の学び』、新教出版社、2009

### 「聖書解釈学概論」 4単位 火曜日 川口通治

新約聖書を歴史的・批判的に読んでいくことによって、言葉の背景にある「新しい聖書の読み方」を提示したい。基本テキストとして、荒井献「イエス・キリストの言葉～福音書のメッセージを読み解く」(「岩波現代文庫」、1300 円)、須藤伊知郎他編「新約聖書解釈の手引き」(日本基督教団、3200 円)を用いる。受講者は「イエス・キリストの言葉」の該当聖書箇所(の)の聖書釈義ペーパーを作り(A4:1 枚以内)、後半は「新約聖書解釈の手引き」の要約レポート(A4:1 枚以内)を分担して報告する。参考資料として講師作成の該当箇所釈義ノートを配布する。

### 「指揮法Ⅱ」 4単位 火曜日 山中臨在

指揮法基礎の応用。指揮法Ⅰで学んだ指揮の基本的パターンを用いて、実際の讃美歌で応用する。讃美歌の作詞者、作曲者、讃美歌が作られた背景などの学びから、より豊かな指揮を学んでいく。また、簡単な聖歌隊曲の指揮を学ぶ。

### 「組織神学Ⅰ」 4単位 木曜日 廣島 尚

神、キリスト、聖霊、聖書、人、罪、救い。これらのテーマについて、聖書を元にして考え、受講者の信仰告白の作成を行います。「教義学」という既存の答えを知識として得るのではなく、個々人・各教会がそれぞれの信仰を建て上げるように、一緒に学んでいきたいと思ひます。  
\*テキストは特に指定しません。毎回、資料を配布します。参考図書:「福音主義神学入門」カール・バルト

### 「教会史Ⅲ」(日本キリスト教史) 4単位 木曜日 戒能信生

日本プロテスタント・キリスト教史について、各教派の伝道展開、教会形成を跡付けながら、この国のキリスト教の特質を探る。特にそれぞれの時期に活躍した伝道者、神学者、信徒などの個人の歩みに注目し、その著作に直接触れることを通して、歴史の中に生きた信仰者の足跡を追う。受講生にはリーディング・レポートを課して、講義と受講生の発題を組み合わせて全15回の授業を進めて行く。また毎回、レジュメを用意して配布する。主な参考文献は、最初の授業の際に配布する。今年の授業で取り上げる人物は、次のような人々の予定。(第一期)新島襄、海老名弾正、植村正久、内村鑑三、柏木義円、(第二期)山室軍平、中田重治、高倉徳太郎、賀川豊彦、(第三期)赤岩栄、鈴木正久、北森嘉蔵、井上良雄

### 「ギリシャ語中級」 4単位 金曜日 村中範光

中級では初級で学んだ基礎を、パソコンソフトを使ってさらに深めていきます。また後半では釈義の学びに入ります。テキスト(ギリシャ語)は最初の授業で配布します。エルサレム入城 マタイ 21:1～9、マルコ 11:1～10、ルカ 19:28～40、ヨハネ 12:12～19  
・文法書:「エレメンツ」 / ・推薦図書:新約ギリシャ語聖書「ネストレ・アールラント第28版」¥6,480  
(参考図書:J バイブル 1 2008、J バイブル 2 ギリシャ語版、無料のバイブルアプリ-英文 biblehub.com)

### 連続公開講座「信徒のための説教」 4単位 金曜日 安藤榮二・内藤淳一郎・高木康俊

各教師が、説教についての講義、及び受講生に聖書テキストとテーマを課し、説教のレジュメ(1000 字以内)及び説教原稿(2500 字以内)の作成を指導する。受講生は「十字架」、「復活」、「教会」をテーマとする3回の説教を作成する。  
安藤榮二 <十字架>  
・説教テーマ1「パウロの十字架の言葉をうけて」Ⅰコリントの信徒への手紙 2:1—5、11:25—26、Ⅱコリントの信徒への手紙 5:18、ガラテヤの信徒への手紙 6:5。  
・説教テーマ2「十字架信仰に密接な和解の努め」、ガラテヤ 6:5 マタイ福音書 16:24—25 等の言葉との関連を確認し、「和解の努め」の核心に迫れるよう学びを進め、説教を起草する作業を試みる。  
内藤淳一郎 <復活>  
聖書テキスト:ヨハネ福音書 11:17—44(中心 11:17—27)  
高木康俊 <教会>  
聖書テキスト:コリントの信徒への手紙— 1 章 18～31 節  
説教テーマ:「十字架と贖い」

### 「合唱」 2単位 土曜日 菊地るみ子

合唱は神学校の学生、卒業生、及び教師により構成する。授業は週一回。単位修得のためには、授業出席の他、所属教会プログラムに出席し、教会音楽に関するレポートを提出すること。教会音楽科演奏会及び、本合唱グループの演奏には積極的に参加すること。本授業は教会音楽科学生在学中は履修を必修とする。

### 「礼拝音楽」 4単位 土曜日 伊藤真知子・菊地るみ子

前半は「礼拝音楽とは何か」「礼拝音楽の目的」「聖書の根拠」「教会史における礼拝音楽の変遷」「教派による特徴」、後半は実践として、「バプテスト教会の礼拝における音楽の働き」「リーダーの役割」「プログラム作り」を学び、最終的に礼拝音楽の学びを言語化できるようにします。

### 「楽典・ソルフェージュⅡ」 4単位 土曜日 十時節子

前期の楽典・ソルフェージュⅠの続きで、ソルフェージュ基礎【視唱】【リズム】【読譜】【聴音】の実習、和音聴音や臨時記号、へ音記号の読譜、楽曲の分析も学びます。楽典は【音程と音階】【和声(コードネーム)】の学びに進みます。音楽の基礎を学び、教会音楽の実践として活用できるように音楽力を身につけていきます。  
使用テキスト:「大人のための楽典ワーク〈コード・ネーム編〉Theory2」(ドレミ出版)「新生讃美歌」